

紹介率

QI 項目の解説

紹介率とは、初診患者に対し、他の医療機関から紹介されて来院した患者の割合です。地域医療支援病院として、地域の医療機関（かかりつけ医）からの紹介患者を速やかに受け入れる体制を確保することは重要なことです。紹介率は、「紹介患者に対する診療提供体制」や「地域の医療機関との連携状況」を示す指標となります。本指標では、より高い値が望ましいとされています。

紹介率割合

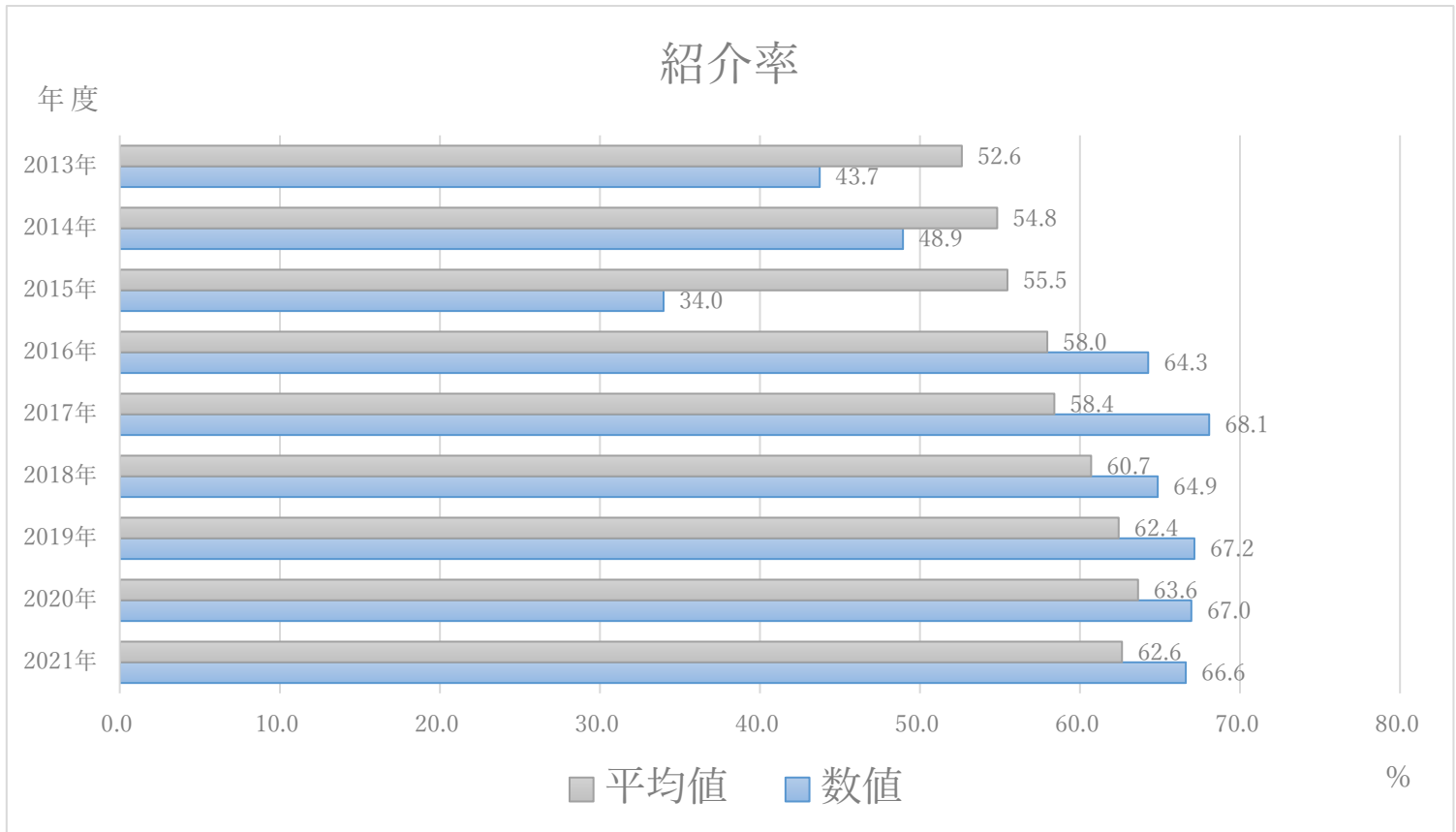
QI 指標の定義・計測方法

分子：紹介初診患者数

×100【%】

分母：初診患者数 - 『休日・夜間以外の

初診救急車搬送患者数 + 休日・夜間の初診救急患者数』



2021 当院データと全施設平均値との比較・原因分析

当院が目標とする地域医療支援病院の紹介基準は、「紹介率 65%以上かつ逆紹介率 40%以上」です。

2021 年度の紹介率 66.6%は目標を達成しており問題はないと考えます。

2021 当院データと 2020 当院データとの比較・原因分析

2020 年度の紹介率は 66.6%であり、前年並みの水準となっています。

数値改善に向けた今後の取り組み

引き続き、地域の医療機関からの意見を参考に紹介受入体制を充実させます。

逆紹介率

QI 項目の解説

逆紹介率とは、初診患者に対し、他の医療機関へ紹介した患者さんの割合です。地域の医療機関（かかりつけ医）からの紹介患者さんを速やかに受け入れるためには、紹介予約枠の適正確保が重要です。そのためには、症状の落ち着いた患者をかかりつけ医に逆紹介し、日頃の診療をお願いする必要があります。逆紹介率は、「地域の医療機関との連携状況」を示す指標となります。本指標では、より高い値が望ましいとされています。

逆紹介率割合

QI 指標の定義・計測方法

分子：逆紹介患者数

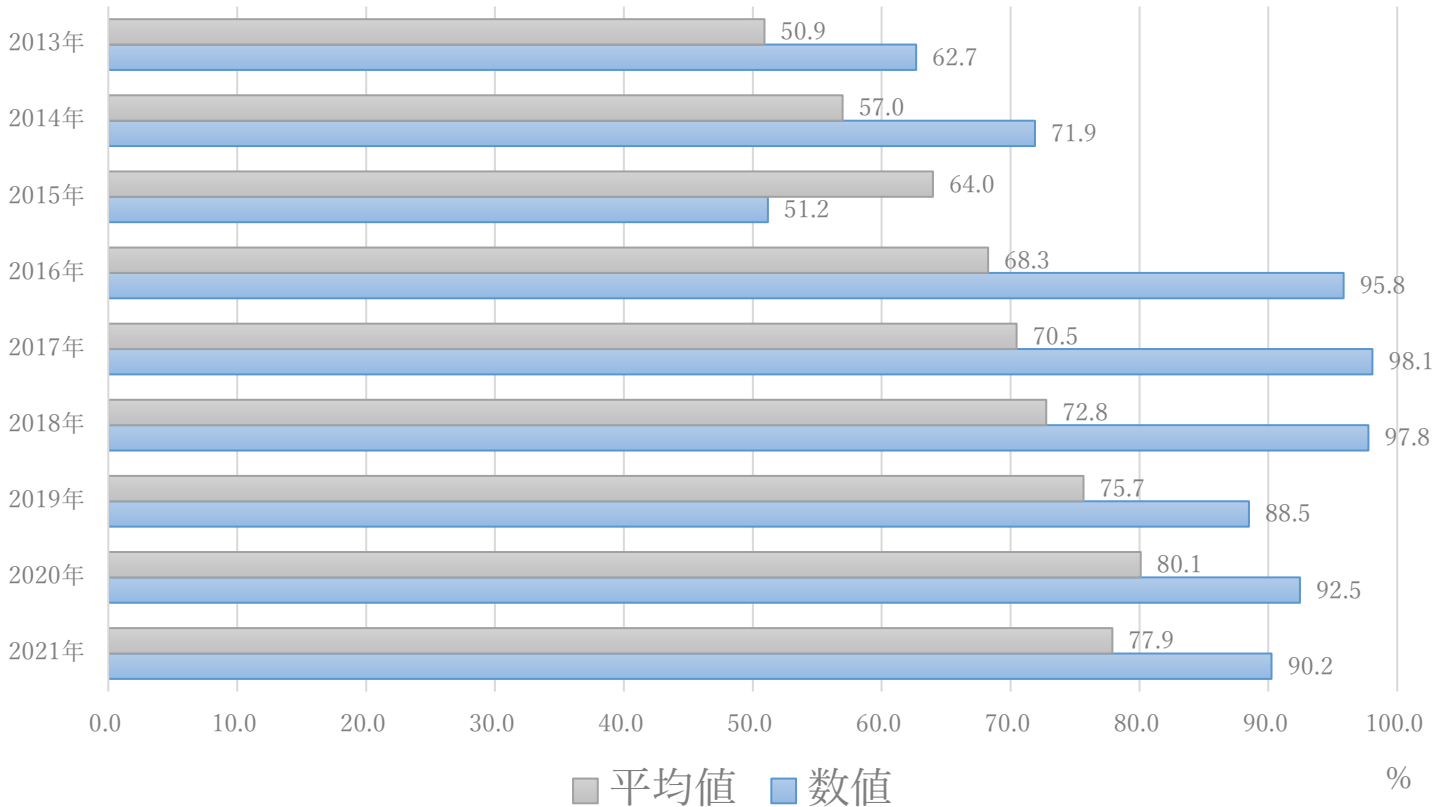
×100【%】

分母：初診患者数－『休日・夜間以外の

初診救急車搬送患者数＋休日・夜間の初診救急患者数』

逆紹介率

年度



2021 当院データと全施設平均値との比較・原因分析

当院が目標とする地域医療支援病院の紹介基準は、「紹介率 65%以上かつ逆紹介率 40%以上」である。2021 年度の逆紹介率は 90.2%と十分高い数値であり、特に問題はないと考えます。

2021 当院データと 2020 当院データとの比較・原因分析

2021 年度の逆紹介率は 90.2%であり、2019 年度の 92.5%から 2.3 ポイント減少しましたが、新型コロナウイルスが蔓延するなか昨年度と変わらず高い数値を維持できていると思います。

数値改善に向けた今後の取り組み

引き続き、症状の落ち着いた患者さんに対して、積極的に逆紹介を行います。

2021 当院データ評価時の改善策の実施状況と評価

地域の医療機関と連携し、役割分担が出来ております。